

(社会)科(1)学年 年間指導・評価計画

- 教科の目標 ① 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。  
 ② 社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③ 社会的現象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

| 学期 | 月  | 単元名・学習内容  | 予定<br>時数 | 評価の観点   |   |  |
|----|----|---|----------|---|---|--|
|    |    |   |          | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学ぶ態度   |
| 1  | 4  | 世界の地域構成   | 7        | ・緯度と経度、大陸と海洋の連否、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を体感し理解している。  | ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。  | ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。                                  |
|    | 5  | 日本の地域構成   | 5        | ・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。   | ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。   | ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。                                  |
|    | 6  | 世界各地の人々の生活と環境   | 12       | ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の気温や降水量、標高などの自然的条件及び、宗教や歴史的背景、科学技術の発展などの社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。<br>・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性ととも、世界の主な宗教の分布について理解している。   | ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。   | ・世界各地の人々の多様な生活や環境について、よりよい社会の実現を視野に各地の人々の生活の特性やその変容の理由を、主体的に追究しようとしている。              |
|    | 7  | 身近な地域の歴史  | 4        | ・具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。   | ・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。   | ・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |
|    | 9  | 古代までの日本<br>・世界の古代文明や宗教のおこり<br>・日本列島における国家形成<br>・律令国家の形成<br>・古代の文化と東アジアとの関わり | 27       | ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。<br>・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとのつながりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。<br>・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。<br>・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 | ・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、「世界の古代文明や宗教のおこり」から「古代の文化と東アジアとの関わり」までについて古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 | ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。                                  |
|    | 10 | 中世の日本<br>・武家政治の成立とユーラシアの交流<br>・武家政治の展開と東アジアの動き<br>・民衆の成長と新たな文化の形成           | 21       | ・鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。<br>・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。<br>・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。                                    | ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、「武家政治の成立とユーラシアの交流」から「民衆の成長と新たな文化の形成」までについて中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。                      | ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。                                    |
|    | 11 | 世界の諸地域<br>・アジア州<br>・ヨーロッパ州<br>・アフリカ州<br>・北アメリカ州<br>・南アメリカ州<br>・オセアニア州       | 29       | ・世界各地で顕在化している地獄的課題は、それがみられる地域の地獄的課題の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。<br>・「アジア州」から「オセアニア州」までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地獄的課題を大観し理解している。   | ・「アジア州」から「オセアニア州」までの世界の各州において、地域で見られる地獄的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地獄的課題と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。   | ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。                                   |
|    | 12 |   |          |   |   |  |
|    | 1  |   |          |   |   |  |
|    | 2  |   |          |   |   |  |
|    | 3  |   |          |   |   |  |
|    | 合計 |   |          | 105   |   |  |